

# 関東・東北豪雨水害

～東京の生協で力を合わせて～

# 被災地支援活動通信 No.4

発行日:2015年11月19日 発行:東京都生活協同組合連合会 竹内 誠(専務理事)

東京都新宿区北新宿 4-8-16 北新宿君嶋ビル 8階 電話:03-6844-3563 <http://www.coop-toren.or.jp/>

## 11月6日(金)より「八間堀団地集会所」での活動場所がはじまりました

東京災害ボランティアネットワーク(以下、東災ボ)『関東・東北豪雨水害被災地支援プログラム』も11月6日で4回目となり、やきとり鳥茂さん駐車場に続く、2か所目の喫茶開催場所として、常総市水海道橋本町「八間堀団地集会所」での活動を開始しました。今後は毎週金曜日にここで実施していく予定です。



東災ボ団体の方や、地域の方とともに引き続きサロン活動(移動喫茶活動)を行い、ホットケーキや飲料の提供。常総市社協職員や JUTOS スタッフも足を運んでくださり、喫茶の様子を見ていただきました。



11/13 名古屋の菓子メーカーから和菓子(左)の提供もありました

「八間堀住宅集会所」は初めての開催ということもあり、事前のチラシまきはしていたものの、どのくらいの住民の方が参加されるかわからなかったのですが、たくさんの方々に参加いただきました。4回目ということで、町会長、地域リーダーのご協力があったことで、混乱もなく開催できました。また、はじめてのボランティアも全員が役割を自覚して取り組みました。



【左】地域の方が物資(衣服や消耗品等)を持って来て、喫茶の横で配布されていました。「こういう場があると配布しやすい。少しでもみなさんのお手伝いができると思ってやっています」ということです。

## これまでの活動場所と参加者

( )は生協参加者

活動日	天候	活動場所	喫茶参加者	ボランティア参加者
①10月27日(火)	晴れ	やきとり鳥茂駐車場	25名	10名(3)
②10月30日(金)	晴れ	やきとり鳥茂駐車場	59名	12名(5)
③11月3日(火・祝)	晴れ	やきとり鳥茂駐車場	52名	13名(6)
④11月6日(金)	晴れ	八間堀団地集会所	39名	13名(4)
⑤11月10日(火)	雨	やきとり鳥茂駐車場	43名	12名(5)
⑥11月13日(金)	晴れ	八間堀団地集会所	33名	11名(5)
⑦11月17日(火)	曇り・雨	やきとり鳥茂駐車場	78名	13名(3)

11月10日(火)に初めて雨での喫茶開催となりました。朝からシトシトと雨が降り続いたのですが、それでも40名を超える方が来られました。参加したボランティアの知り合いで、喫茶開催場所の近くに住んでおられる方から「やれることがあれば手伝えるよ」とご提案いただき、早速、地元の方が一緒にチラシ配布をしてくださいました。また、喫茶の給仕をお手伝いしてくれる方も来てくださいました。11月17日(火)は、喫茶が始まる直前に水海道幼稚園の園児(40名)が保育士(6名)と共に来てくれました。

## 生協ボランティア参加者からの報告(11月13日)



やはり現地に来てみてその後の状況の大変さを知ることができました。災害から2ヶ月経ったにもかかわらず、床板や畳を外し修繕しているお宅や片付かない廃材などが目に入り、公園には、大きな祠が流れ着いたままになっていました。被災されたお一人からは「わたしの背丈ほども水がきたのよ」と被災時の恐ろしさをお聞きしました。喫茶で楽しく会話されている様子を見ると、地道な支援の重要さを感じました。

**生活クラブ・東京 牛島さん**

当日喫茶に来てくださった方から、避難の時の様子、そのあとの片づけや現在の生活の様子などについて、お話をうかがうことが出来ました。どこまで踏み込んでお聞きして良いものか迷いながらも、被災した方の思いやご苦労を感じ取ることができて、大変貴重な時間を頂けたと思います。地域一帯の家屋、建物の一階部分は、ほとんどがどこも浸水で使えない状態で、復興への課題は山積だと思えます。もとの戻るまでにはまだまだ何か月かかるかわからない状態ですが、このふれあい喫茶を通じて地域の方々のつながりが、これからもしっかりと続いて行けばいいなと思います。

**生活クラブ連合会 沢目さん**

喫茶のチラシまきで街を見てまわって、1階部分が空っぽの家や入居していないアパート・当時のままの建物が生々しく残っており、収束とは全く言えない現実に衝撃を受けました。ふらっと散歩中のある方に声をかけられ、「次はいつ?この前のお茶が美味しくてたのしかったわ!有難う!!」。どうやら住まいを失い、仮住まいでご近所の友達と離れて寂しいけどこのふれあいの場でみんなに会えるという喜びや、「〇〇さんは大丈夫かしら」というお互いの安否を確認できる場としてすごく心の支えになっているという事で、この活動の大切さをしっかりと感じる事ができました。

**パルシステム東京 中下さん**

お茶会の呼び掛けのために、各戸にチラシまきをおこないました。一軒一軒を徒歩でまちをまわってみると、ポストにチラシを入れていいものか判断がつかねる家がたくさんありました。また、アパートの1階だけでなく全棟閉鎖になっているものがあつたり、被害の大きさを実感することができました。その後、ご厚意でご自宅を見せていただくと、窓ガラスにガムテープが貼られていて「ここまで水が来たの」と言われ、洪水当日の状況をリアルに感じる事ができました。1階部分がほとんど壊滅的な状況になっていて、再度同じ場所に住むには相当時間がかかることは容易に想像がつき、被災者の生活再建が尚難しいことを感じました。

**東都生協 千谷さん**

**寒さも増してきますので、今後参加される方は防寒対策をお願いします。**

